



イノベーションと
パートナーシップで
持続的に社会貢献する薬剤学

公益社団法人 日本薬剤学会第36年会

The 36th Annual Meeting of The Academy of Pharmaceutical Science and Technology, Japan (APSTJ)

2021年
5月13日(木)~15日(土)

会場

徳島県郷土文化会館
(あわぎんホール)

徳島市藍場町2丁目14番地

年会長

馬場 一彦
大鵬薬品工業株式会社

演題登録・事前参加登録開始
2021年1月5日(火)

演題登録締切日
2021年3月1日(月)

事前参加登録締切日
2021年4月13日(火)

年会事務局

徳島大学大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野
E-mail: yakuzai36@ml.tokushima-u.ac.jp

運営準備室

株式会社MONS
〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目7-1 Maison25 203号
Tel: 011-824-8805 Fax: 011-826-4556
E-mail: convention@mons-sapporo.co.jp

<https://www.apstj.org/36/>

特別講演

米満 吉和 先生 (九州大学大学院薬学研究院)
井上 豪 先生 (大阪大学大学院薬学研究科)

招待講演

森 和彦 先生 (日本製薬工業協会)
西良 浩一 先生 (徳島大学病院 整形外科)

特別企画シンポジウム

1. イノベーション・パートナーシップで持続可能な医療に貢献する企業研究
2. 徳島発の最先端研究と薬剤学への展開

学術シンポジウム

1. 薬剤学令和維新：未来の薬剤学へのメッセージ
2. 経皮吸収技術の進化と応用
3. Beyond the Brain Barriers: 新技術が拓く脳関門輸送研究と中枢創薬
4. 脂質ナノ粒子製剤の研究・開発を加速する産官学インキュベーション
5. Manufacturing Classification System (MCS) 入門
6. 医療の進歩によって生じた現場とのアンバランスとその対応について考える

薬学教育シンポジウム

コロナ禍での薬学教育の実践

医薬品包装シンポジウム

医薬品包装の新たな潮流と将来展望 (2021)
～薬機法改正, 環境保護, デジタル技術～

学生主催シンポジウム SNPEE2021

ラウンドテーブルセッション

1. 難吸収性薬物の経口吸収改善方法の新たなアプローチ
2. シンバイオティック・マテリアルの実現と新しい創薬モダリティを考える
3. ウィズコロナ、ポストコロナ時代の吸入剤研究開発
4. エクソソームによる核酸医薬 DDS を目指して。研究・開発の進展と将来展望
5. 薬剤学-薬物動態学連携研究による医薬品開発の高質化と加速化 (日本薬剤学会 経口吸収 FG-日本薬物動態学会 吸収 DIS 連携企画)
6. イメージング活用創薬・セラノスティクスの発展と展望

